



議会だより

千早赤阪

ちはやあかさか

特集：決算特別委員会質疑・代表質問



一般質問

徳丸 初美 議員

- ・今後の地域公共交通の在り方は
- ・若者の移住・定住は

服部 幸令 議員

- ・「安全・安心で住みよい村づくり」について
- ・スズメバチの駆除対策は

藤浦 稔 議員

- ・高齢世帯などのごみ出し支援について
- ・千早診療所の今後について

井上 浩一 議員

- ・介護保険による訪問歯科診療について
- ・带状疱疹ワクチン予防接種費用の助成

田村 陽 議員

- ・農作物等被害防止対策の拡充を
- ・役場事務にグループで対応を

吉田 昭之 議員

- ・通学路の整備について

vol. 150
Nov 2024
9月定例会

臨時議会 議決結果（令和6年8月9日）

○全会一致で可決・承認された案件

議 案 名	主 な 内 容
専決処分（令和6年度千早赤阪村一般会計補正予算（第4号））の承認を求めることについて	職員の退職による増等
令和6年度千早赤阪村一般会計補正予算（第5号）	金剛山ロープウェイ施設撤去工事管理委託業務の費用の変更等
工事請負契約の締結について	金剛山ロープウェイ施設撤去工事

9月定例会 議決結果

○報告及び全会一致で可決・認定された案件

議 案 名	主 な 内 容
令和5年度健全化判断比率について	適正であると報告
令和5年度資金不足比率について	適正であると報告
千早赤阪村庁舎建設検討委員会条例廃止について	新庁舎の完成に伴う廃止
千早赤阪村国民健康保険条例の改正について	国民健康保険法の改正に伴うもの
令和6年度千早赤阪村一般会計補正予算（第6号）	いきいきサロンやまゆり建替え検討支援業務委託料及び境界測量委託料の増等
令和6年度千早赤阪村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	令和5年度村診療所運営事業赤字補てんの増等
令和6年度千早赤阪村介護保険特別会計補正予算（第3号）	地域支援事業交付金（包括的支援事業・任意事業）の増等
大阪府後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議について	マイナンバーカードと被保険者証の一体化に伴う規約の変更
大阪広域水道企業団の共同処理する事務の変更及びこれに伴う大阪広域水道企業団規約の変更に関する協議について	大阪府広域水道企業団が共同処理する事務に、岸和田市・八尾市・富田林市・柏原市・高石市に係る水道事業の経営に関する事務を追加するもの
令和5年度千早赤阪村一般会計歳入歳出決算認定について	詳細は特集ページを参照
令和5年度千早赤阪村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	
令和5年度千早赤阪村介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	
令和5年度千早赤阪村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	
令和5年度千早赤阪村下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	
災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への支援を求める意見書について	詳細は3ページを参照

議長コラム



村議会議長

千福 清英

彼岸が過ぎると少し気温が落ち着いてきた。涼感を帯び、ひと頃より過ごしやすくなった。あちこちの街に植樹されているイチチョウが間もなく黄葉を始める時期である。

この街路樹をめぐり、先日東京都の日野市で痛ましい事故が起こった。緑地の歩道を歩いていた30代の男性が落下した枝の下敷きになり亡くなった。その枝は数メートル、直径が30センチもあったと言う。手入れが行き届いていたかどうか。木自体が大きくなりすぎて、自重を支えきれなくなったのだろうか。

また、道路の陥没や水道管が老朽化により破裂して道路を水浸しにするなどのニュースが流れた。

昭和の勢いのあった、高度成長下でつくられた街のひずみがあちこちで目立つ。

このような事象が村においても想定できる。日ごろの点検や監視が大切であることが強く感じられる昨今である。

今月の表紙



森屋 長谷 明花 (めいか) 11歳
長谷 瑛太 (えいた) 10歳
長谷 結心 (ゆいな) 6歳
長谷 六花 (りっか) 9か月

父 俊英
母 宏佳

我が家のアイドルです。
元気にすくすく育ってね。

全員協議会

〔令和6年9月19日開催〕

令和6年度教育委員会の事務に関する点検評価報告書（令和5年度分）

可決された意見書の概要

「災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への支援を求める意見書」

いづどこで発生するかわからない災害に対して、特に発災直後は情報が大変に混乱する中で、被災者の命を救うために、1分1秒も無駄にできない。その活動を大きく阻害する偽情報の拡散防止は喫緊の課題である。よって、政府に対して、災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築に向けての支援の積極的な推進を求めるもの。

表紙写真 大募集!!

議会だより「ちはやあかさか」の表紙を飾って
いただけるお子様の写真を募集しています。

【募集内容】

0歳から小学生程度のお子様の写真（複数人でもかまいません）

【応募方法】

写真掲載ご希望の方は千早赤阪村議会事務局までお電話または村ホームページ（村議会）にてご連絡ください。

議会事務局 TEL 0721-26-7168

決算特別委員会質疑

●地域活性化起業人

問 (株)ぐるなびとの契約が終了したということだが。

答 起業人として派遣されていた職員が退職したことによるもの。

問 今年6月ぐらいにノバシステムも地域活性化起業人として発表があったが。

答 村長選挙の結果を受けて相手方から辞退ということになった。

●ふるさと応援寄附金

問 返礼品の登録数はほぼ倍になっているが、収入の増につながっていない。

答 金額も昨年よりも微増となっており、効果はあったと認識。

問 目標は300万円の収入増だったがまったく達成できていない。効果があつたと言えるのか。

答 地域活性化起業人は、金額にあらわれない業務も行っているので、一概には言えない。

●協定

問 村長選挙の後、破棄になった協定はどの程度あるのか。

答 丸紅木材、アカギヘリの2社となっている。

問 丸紅木材とアカギヘリの2社は前村長との

つながりで紹介されたのか。

答 前村長のつながりで紹介してもらった。

●小吹台連絡所

問 月水金の週3日開所とした成果は。

答 3日になって便利が悪くなった、3日でも良い等様々な意見があった。今のところ直ちに3日に縮小するというような考えはない。

問 会計年度任用職員や外部のシルバー人材センター等への委託は。

答 税金や保険の収納などで高額な金額を預かることもあり、会計年度任用職員では難しい。外部委託は費用面で高額になる。

●バス事業

問 バス運行の赤字額は。

答 令和5年12月からの3か月間で790万円の赤字となっている。

問 国や府から補助は。

答 昨年度は国から126万円補助を受けている。

●B&G海洋センター

問 B&G海洋センターのプール開放の予定は。

答 二十数日間開放するだけで1千万円ほど費

用が必要になる。村財政全体における優先順位を決める中で、プールの一般開放についても判断すべきと考えている。

●農業振興

問 ハクビシンは有害鳥獣に指定されていない。わなで捕まえたハクビシンはどうしたらいいのか。

答 基本的に村で処分ができない。おりに入っても逃がしていただくというような処理しか現実的にはできない。

●下水道

問 下水道料金を改定する予定は。

答 令和6年度以降に、料金改定を実施したいと考えている。

●不明な旅費(調査中)

本委員会において、旅費に関する質疑のなかで、一部不明瞭な箇所が見受けられました。これに伴い、議会は執行部に対し、詳細な調査を要望しました。

調査が終了次第、村民の皆様には詳細を報告します。引き続き、議会は透明性のある予算執行であったか監視していきます。

井上 浩一 議員（公明党）

Q 小吹台地区の施設整備について、現状での考えは。

A 南海トラフ地震や大規模な災害に備え、避難所としても使えるような機能が必要。

Q 50年、100年後の村のイメージは。

A いつの時代にあっても誰もが安心して住み続けることができるような村を目指していきたい。

吉田 昭之 議員（自民党・無所属の会）

Q 風通しがよくないと判断した理由は。役場に何が起きているのか。

A 年齢構成がいびつになっており、若手職員は意見を主張しにくく、幹部職員は部下への接し方に戸惑っていると感じている。

Q 楠公誕生地周辺活性化事業の見直しの経緯は。

A 多額の費用を要することに加え、コンセプト案だけで事業を進めることに疑問を感じ、庁内の議論を踏まえ見直しを決断した。



田村 陽 議員（平政会）

Q 財政的な制約がある中、菊井村長が目指す「府内で最も子育てに手厚い村」とは。

A 保育料や給食費の無償化など、子育て施策は府内でも高い水準にある。未来への投資として子ども医療費の助成制度など、子育て施策の充実を図る。

Q 菊井新村長にとっての「真っ当な村づくり」とは。

A 課題を一つ一つ解決しながら、村民目線で謙虚に誠実に実行することだと考えている。

徳丸 初美 議員（共産党）

Q 多くの住民は合併を望んでいない。新村長の合併についての考えは。

A 今すぐ合併ということは考えていない。将来的な選択肢の一つとして合併についても議論を深めていくことは必要。

Q 施策実行に向けて優先順位はつけられているのか。また、最も優先順位の高いものは。

A 事業内容や財源、今後の対応について各担当課で整理を行っている。整理ができた段階で判断したい。



服部 幸令 議員（服部会）

Q 所信表明で示された様々な支援策に必要な財源をどのように確保するつもりなのか。

A 施策の必要性や財源の確保、そして実施体制など、慎重に検討していく。

Q 給与等の減額について報酬審議会の答申を受けて行うとのことだが、本気で給与等を減額するつもりがあるとは思えない。

A 4年ごとに諮問が必要だと考えている。答申の内容を踏まえ、公約どおり給与及び退職手当の減額に関する条例を提案する予定。





今後の地域公共交通の在り方は



地域公共交通の確保に努めていく



徳丸初美議員



金剛ふるさとバス

問 住民にとって地域公共交通は生活の一部である。後期高齢者になり運転免許証返納となると必要不可欠である。現在のバスは今後も引き続き運行していくのか伺う。

答 昨年12月から4市町村でコミュニティバスを運行している状況。乗降調査等も踏まえ持続可能な地域公共交通の確保に努めていく。

問 地域によってはバス停まで距離があるところが少ない。ドア・ツリー・ドアのような、使いやすい乗り物が求められるが、見通しを伺う。

答 村内間のバスについては今後も地域公共交通の構築のため本村にはどのような在り方がいいのか千早赤阪村地域公共交通協議会の中で議論を深め検討していく。

要望 村としてほかに類を見ない取組みをするこ

若者の移住・定住は

問 日本全国若者の移住・定住施策の成功例が挙がっている。本村でも本気で取り組まなければならない。役場の中に専門の課を立ち上げ本気度を示さなければならないと思うが、村の考えを伺う。

答 人口減少や少子・高齢化が進む中、持続可能な行政運営を行っていくためにも移住・定住の取

組みは重要な施策の一つと認識している。専門の課の立ちあげは、本村の職員の状況を考えると、現状では困難である。

問 議員で視察に行ったら奈良県の御杖村では村営住宅があった。本村でも村営住宅を造ってはどうかと思うが、村の考えを伺う。

答 現在のところ公営住宅の建設については考えていない。

要望 村営住宅という点ではなかなか難しくハードルも高いと思われるが若い人たちが子育てをするには最高の村である。子どもたちの声が村に響きわたる日が一日も早く来るよう要望する。





服部幸令 議員



「安全・安心で住みよい村づくり」について



施設の整備を最優先で進めたい

問 菊井村長の所信表明の中で、安全・安心で住みよい村づくりの中でいきいきサロンやまゆり和小吹台連絡所を複合施設として整備とある。私自



建替えが検討されている
「いきいきサロンやまゆり」

身、小吹台の住民でもあり、この機会にぜひ進めてもらいたい。
ただ一方で、他にも老朽化が著しい公共施設が数多くある中、いきいきサロンやまゆりを掲げている理由を伺う。

答 いきいきサロンやまゆりは、老朽化も激しく、外壁の欠落や、雨漏りが発生して耐震基準も満たしていないことから、選挙公約に掲げた。

議会に対しても情報共有をしながら施設の整備を最優先で進めたい。

問 複合施設として整備とあるが、全て取り壊して再建するのか、また場所等は決めているのか。

答 建築場所については、現在補正予算で計上している建替え検討支援業務の中で検討している。

問 やまゆりと小吹台連絡所を複合施設として整備を進める中で補助金の活用や財政運営は。

答 新築となれば多額の費用が必要になることは認識している。今後、村の財政負担が少なくなるように対象となる補助金等も併せて調査研究しながら進めたい。

要望 新築すれば億単位の費用が必要になる。

使用可能な補助金などを有効に活用し、村の負担を減らすことを要望する。

スズメバチの駆除対策は

問 令和5年の話ではあるが、地域住民から空き家にスズメバチの巣ができて、その近辺を通行中に身の危険を感じたとの話を聞いた。

他自治体では蜂駆除のための補助制度があるなど様々な対策が講じられているとの情報もあり、対策を講じることは考えていないのか、増加する空き家への対応と併せて伺う。

答 村ではスズメバチの巣の駆除相談に対して駆除専門業者を紹介し、土地、家屋の所有者の管理責任において対応している。ホームページ等において注意喚起を促すが、記載内容についてさらに充実させていく。

空き家においても土地、家屋の所有者の管理責任において対応となる

ので、地区から役場に対し駆除要望等があれば現場確認を行い、土地所有者に対して駆除の勧奨を行う。

要望 今年はスズメバチの発生や被害が少ないと聞いている。ただ、気候変動の影響で災害と同じように今後の予測が難しい事案でもある。村としても住民に対して注意喚起するなど取組みを続け、また、空き家問題は今回のスズメバチ問題だけでなく倒壊、犯罪の誘発、小動物の住処になるなど、多くの問題をはらんでいる。移住・定住等を促進し、空き家の利活用にも取組んで欲しい。



高齢世帯などのごみ出し支援について



予算計上し、支援を考えている



藤浦 稔 議員

問 高齢世帯など、ごみ集積場所までごみを持ち出すのが困難な世帯が多くなっている。何らかの早急な対策が必要となっている。村は今後どのように取組んでいくのか。

答 高齢化率が高い本村にとっては、ごみ集積場所までごみの持ち出しが困難な世帯への対策は喫緊の課題であると認識している。

ごみ回収の仕組みなど具体的に検討している。令和7年度当初予算に必要経費を計上し、村として支援していくことを考えている。

問 早々に来年度予算に必要経費を計上し、村として支援することだ

が、具体的にどのような支援策を考えているのか。

答 村内は、各道路において状況が違い玄関先まで大型ごみ収集車が進入できない家庭もある中で、小型車などで玄関先まで収集することを考えている。

しかし、村内の高齢者を一律にしたものではなく、ごみを持ち出すことが難しいお年寄りや、障がいのある方を対象に事前登録制度などを考えている。詳細についてはお年寄りの方が利用しやすい方法を考えていく。

要望 今後ますますごみ出しが難しい方が増えていくなかで、お年寄りの気持ちに寄り添って少しでも安心して暮らせることを要望する。

千早診療所の今後について

問 国民健康保険診療所の通常指定管理期間は5年であるが、診療所運営の在り方を検討するため2年に短縮された。

検討内容と結果を踏まえて、村長としてどのように考えているのか。

答 これまでの受診状況から、村診療所・千早診療所とも、高齢者の身近なかかりつけ病院として健康診査や予防接種のできる医療機関としての役割を果たしている。

村の実情に合わせ住民に安心して医療を受けていただくためにも、診療所は今後も存続していく必要があると考えている。

問 診療所は存続すると村長の答弁だが、千早診療所の老朽化については、どのように考えているのか。



千早診療所

答 千早地区の受診者数や人口減少を考えると、新しい施設の建て替えは難しい。しかし訪問診療や送迎などの代替案など、あらゆる方法を視野に入れ引き続き検討していく。

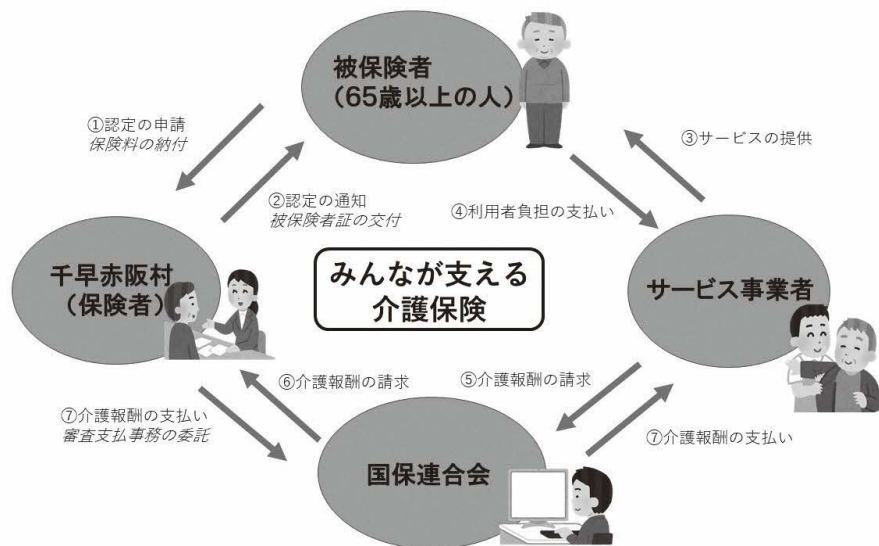
要望 千早診療所を必要としている住民はいる。今後、地元住民の声も聞きながら、丁寧な説明



井上浩一 議員

問 介護保険による訪問歯科診療について

答 真摯に対応していく



介護保険のしくみ

問 介護保険制度による訪問歯科診療で不正請求が行われている事実がある。介護給付費の審査業務を村はどのように行っているのか、また、今後のこのような事案に対し

答 再質問の不正請求については確認が取れていないので答弁できない。

問 確認が取れないので調査出来ないとは疑問だ。では、こちらから資料を提出するので、詳細に調査し報告をお願いします

答 帯状疱疹ワクチン予防接種費用の一部助成を実施する予定だが、国の

の対策を伺う。

る。

答 府内の全市町村は、大阪府国保連合会に審査支払業務を委託している。市町村は、この審査結果を受け、国保連合会を通じ給付の支払いを行う。住民自ら村に対し、不正請求事案の通報があった場合、医療機関に対し指導権限がある。今回の事案については前例がなく広域福祉課において慎重に対応していく。

答 あいまいな情報で指導できない、被保険者本人からの申し出があれば、真摯に対応する。

要望 要するに、現在の給付体制では不正は防げないと理解した。この件については、最後まで追跡調査し、結論が出るまで対応を望む。

要望 50歳以上の罹患率が高く、高齢者の多い村では要望が多い。また、後遺症についても心配があり、出来るだけ早期の対応を願う。国の動向を見るのは理解できるが、住民1番で考えて欲しい。

带状疱疹ワクチン予防接種費用の助成

問 6月に厚労省が、定期予防接種化に向け検討することになった。村は高齢化が進み、すでに罹患されている方のお話を聞くことがある。近隣自治体での助成実績は無いが、全国的にも助成する自治体も増えてきている。村長公約にもあり、迅速な対応で費用助成が出来ないのか。

その他、3問、質問した。
・聴覚補助器等の積極的な活用への支援
・軟骨伝導集音器の設置
・主権者教育の取り組み



農作物等被害防止対策の拡充を



補助上限額を見直す方向で検討していく



田村 陽議員

	補助金額（上限）		補助率	
	個人設置	共同設置	個人設置	共同設置
富田林市	10 万円		10 分の 8	
河内長野市	20 万円		3 分の 1	2 分の 1
河南町	10 万円		2 分の 1	
太子町	7 万円	4 万円（一人につき）	2 分の 1	
千早赤阪村	5 万円	10 万円	2 分の 1	

電気柵等の設置補助金に係る近隣自治体との比較

- 問** 本村ではワイヤーメッシュや電気柵等の設置に補助金が設けられているが、近隣市町では本村より手厚い状況であるとの声を農家の方から度々いただいている。実際に近隣市町と本村の補助制度に差はあるのか。
- 答** 近隣自治体（富田林市・河内長野市・河南町・太子町）では、補助率は3割から8割となっており、補助上限額では7万円から20万円と幅がある。
- 本村の場合は補助率は5割、補助上限額は5万円となっており、他の自治体より補助上限額は低い状況だ。
- 問** 補助額の拡充等の考えは。
- 答** 今後補助上限額を見直す方向で、近隣自治体の状況をさらに調査研究しながら前向きに検討していきたい。
- 要望** 新村長の所信表明では「住民の声に耳を傾

- ける、そのような村政を実現したい」と述べていたが、早速の対応に感謝している。
- 今後も引き続き住民の声を村政へと反映してほしい。
- 役場事務にグループで対応を**
- 問** 昨年度は実に11人も退職があった。役場職員の退職が今後も続けば、当たり前の事務が当たり前にこなせないときが来るのではないかと強い懸念を抱いている。
- 職員の負担を軽減し、退職者を抑制していくためにも、職員個人に任せきりにするのではなく、小規模なグループにより対応することが必要なのでは。
- 答** 行政サービスの多様化により事務量が増加傾向となっている。持続可能な行政サービスを提供できるよう令和6年3月



電気柵

- に定数の増を図ったところだ。
- 複数人で対応できる体制づくりについては、現状では各課において課内の業務の担当替えを行い複数の職員が対応できる体制をつくるなどいろいろと対策を講じている状況。同規模程度の他の自治体の事例なども参考に検討を進めたいと考えている。
- 問** 退職者の転職先は把握しているのか。
- 昨年度の転職先としては国家公務員が3人、地方公務員が4人、民間企業などが4人となっている。
- 要望** 年に10%以上の職員が退職していく現状は一刻も早く変えていかねばならない。
- 職員一人一人がやりがいを持って職務に取り組むことができるよう、「働きがいのある、風通しのよい職場づくり」を実現させてもらいたい。



吉田昭之議員



通学路の整備について



危険箇所については、道路管理者等に改善の申し入れを行っている

問 現在、中学生の通学路について一部の生徒はカーブの多い府道や村道



カーブの多い通学路（府道）①



カーブの多い通学路（府道）②

を自転車通学している、中学生の保護者アンケートからも富田林甘南備方面から村民運動場につながる道路のほうが安全と思われるので通学路として利用できないかとの意見もあがっている。より安全な通学路の確保の観点からも通学路として利用できないかを伺う。

また、中学生の携帯所

持について、現在中学校の生徒たちは徒歩、自転車、スクールバスで通学している。緊急時に生徒たちは携帯電話を所持しておらず、連絡を取ろうにも学校、自宅とどちらか近いかを判断して友達等が連絡を取っている状況だと聞いている。仲間

がいる場合はそのような対応ができるが、一人の

ときにそのような緊急事態が発生したと考えると、携帯の所持が望ましいのではないかと思うが、見解を伺う。

答 村立学校においては学校保健安全法に基づき通学も含め児童・生徒の安全確保を図るために計画を策定し、安全対策を実施している。通学路については安全確保を図る上で支障がある場合は学校設置者である村に対し、その改善について申

出できるものであり、村立中学校においては現在の村域内ルートを通学路に指定している。村立学校では日頃から生徒に対する登下校時の安全に関する指導を行うとともに通学路の危険箇所については教育委員会と連携を図りながら道路管理者等へ改善の申し入れを行い、生徒の安全確保に努めている。

携帯電話の取扱いは、学校への持込みは原則禁止だが、特別な事情がある場合は申出により許可することができると保護者にわかりやすい文書で配付を願う。

携帯電話の取扱いについて、学校へ持込みは原則禁止だが、特別な事情がある場合は申出により許可することができると保護者にわかりやすい文書で配付を願う。

止だが、特別の事情がある場合は申出により学校において一定の条件下、許可をしている。

要望 通学ルートについては、実際に通学する生徒及び保護者の意見の聞き取りを行う必要があるのではないかと思われる。今後このような機会をつくってもらいたい。引き続き府道整備の要望、村道整備などの尽力を願う。

携帯電話の取扱いは、学校への持込みは原則禁

ぎ か い の 窓

○宇陀市視察研修（7／23）

・奈良県宇陀市役所

・宇陀市の公共交通の取り組み

・自動運転実証実験の結果、導入までの計画や課題について

・有償バスの運営にあたり国や県の補助金の有無

・有償バス運転手の免許証の種類

・有償バスの予約受付や、バス自体の運行管理

○南河内郡町村議会研修会（7／31）

・河南町役場大会議室

・「町村議会議員、なり手不足問題を考える」

・講師 東北大学 準教授 河村和徳氏

「議員の立場」「議員の定数に対する考え方」などについての講義

○大阪府町村議会「令和6年度議員セミナー」（8／23）

・シテイプラザ大阪（大阪市中央区）

・講師 高崎大学教授 櫻井常矢氏

・持続可能な地域づくりを実現

するために「地域運営組織の意味と役割」などの講義を受けた。

○令和6年度 大阪府880万人訓練（9／3）

・地震発生・大津波警報が発令されたとの想定で訓練実施

・これに議会では、議会開会中を想定し、議場から避難するという訓練を行った。

・終了後、2階会議室において村での災害想定の上訓練を行った。



図上訓練の様子

議会を傍聴しませんか



次回定例会の予定

11月29日(金)から12月19日(木)です。

11月29日(金) 本会議 初日(一般質問)

午前10時

12月3日(火) 文教建設常任委員会

午前10時

12月5日(木) 総務民生常任委員会

午前10時

12月19日(木) 本会議 最終日

午前10時

上記日程は、状況により変更になる場合があります。

傍聴される場合は、議会事務局までご確認ください。

1階フロアの設置モニターにより議会の様子を見ることができます。

議会事務局 TEL 0721-26-7168

議場・議会事務局は、千早赤阪村役場庁舎3階

雑感

高齢化が進み免許返納者が増加している。

それに伴い、公共交通機関を利用される方が増えている。

行きは荷物も少なくないのだが、帰りは荷物がぐんぐん増えて大きなエコバッグを持ち、キャリーカートを引き、休憩をとりながら帰宅される姿を見ると何か訴えかけられるものがある。

公共交通機関があるとはいえ、バスの本数も少なく

便利とは言えない。

住む地区によって行先も限られてくる。

『となりのトトロ』にでてくる『ネコバス』のように、希望する場所に行先を決められる、そんなバスを運行させてもらいたいと思う。

吉田



吉田

広報編集委員会

委員長	服部幸令	副委員長	田村 陽
委員	井上浩一	委員	徳丸初美
委員	吉田昭之	議長	千福清英